資料2

立川市第2次スポーツ推進計画の実施状況（令和6年度実績）

基本方針1　市民のライフステージに応じたスポーツの推進

全ての市民が年齢や性別、障害の有無に関わらず、生涯にわたって日常的にスポーツに親しむことができ、体力の維持向上や健やかな心身を育むことができる生涯スポーツのまちづくりを推進します。そのために、市民の体力や年齢、興味、関心の変化などに応じ、子どもから高齢者までライフステージに応じたスポーツ施策を展開します。

成果指標	調査手法	目標値（R6年度）	実績（R2年度）	実績（R3年度）	実績（R4年度）	実績（R5年度）	実績（R6年度）
週1回以上スポーツを行っている市民の割合（成人）	市民満足度調査（毎年実施）	70.00%	48.3% N=1092	54.4% N＝989	55.6% N＝956	53.2% N＝900	53.9% N＝917
週1回以上スポーツを行っている市民の割合（障害者）	立川市障害福祉計画策定等の意識調査（計画策定時）	40.00%	30.70%	－	－	30.50%	－

施策名	（1）子どものスポーツの推進
施策の内容	

子どもの体力は、文部科学省及びスポーツ庁が実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（全国体力テスト）」によると、30年前と比較してほとんどのテスト項目において下回っている状況が続いています。この原因として、スポーツや外遊びの場所・時間の減少、急速な情報化による情報機器に接する時間の増加、行動範囲が狭まっていることなどが指摘されています。
また、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化がおきています。そのため、スポーツをしない子どもが身近な場所で気軽にスポーツに取り組めるよう、地域と連携して、地域での子どものスポーツ活動を推進します。

取組事業

・泉市民体育館管理運営　　柴崎市民体育館管理運営

・スポーツ普及奨励活動事業（スポーツ普及事業 、地域スポーツ教室、市民健康づくり教室）

・競技会等の開催・派遣事業（スポーツ推進委員、立川シティハーフマラソン、小学生クラブ交流）

・「立川市アクティブプラン to2020」の推進

・東京女子体育大学との連携

・運動遊びや補助運動などの「一校一取組運動」

・中学校部活動外部指導員による部活動の技術指導

実施状況

コロナ禍前の参加者数には戻っていないが、多くの事業において参加者は昨年度に比べて増加した。泉市民体育館まつりは多くのスポーツが体験できるよう実施した。日常的にスポーツに親しみ、体力の維持向上の取り組みにつなげることができた。
学校教育では、東京女子体育大学や地域に拠点を置くスポーツチーム等との連携により、多様な学習機会を創出するとともに、自己の体力及び運動能力の向上を図る「一校一取組運動」の取組を小中学校全校で実施した。また、専門的な知識及び技能を有する部活動指導員を配置し、部活動の技術指導等にあたった。

子ども対象のスポーツ事業の開催　（延べ参加者数）

番号	事業名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①	市民体育館における各種教室	4,562	11,532	13,912	19,401
②	ソフトテニス教室	141	130	95	58
③	ジュニア体力競技力向上事業	2,153	企画なし	企画なし	企画なし
④	小学生クラブ交流大会	358	681	902	873
⑤	なわとび検定会	21	665	602	512
⑥	小学生姿勢教室	33組71名	37組80名	48組102名	45組98名
⑦	泉市民体育館まつり	672	1,447	1,572	1,720
⑧	なわとびチャンピオン大会	中止	175	141	258
⑨	立川シティハーフマラソン（立川市民小中学生）ファンラン3kmの部/親子ペアの部/1マイル	611	703	1,132	1,134
	合　計	8,589	15,413	18,458	24,054

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

子ども対象のスポーツ事業の開催　（延べ参加者数）

番号	事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	市民体育館における各種教室	37,551	38,526	44,325	48,827	34,921
②	ソフトテニス教室	201	261	197	182	187
③	ジュニア体力競技力向上事業	950	812	757	1,449	1,707
④	小学生クラブ交流大会	1,000	1,000	1,054	1,054	1,182
⑤	なわとび検定会	482	484	630	484	394
⑥	小学生姿勢教室	－	（30組）61	（27組）58	（66組）139	（69組）149
⑦	泉市民体育館まつり	－	289	461	704	401
⑧	なわとびチャンピオン大会	458	355	334	405	260
⑨	立川シティハーフマラソン3kmレース/親子ペアレース	1,791	1,922	1,854	1,607	－
	合　計	42,433	43,720	49,670	54,851	39,201

施策名	（2）成人や子育て世代のスポーツの推進

施策の内容

30～40歳代のスポーツ実施率が低いため、隙間時間の活用や気軽に始められるスポーツ等を推進し、スポーツ実施率の向上を図ります。また、引き続き、泉・柴崎両市民体育館で成人や子育て世代のニーズに合った各種スポーツ教室等を実施します。

取組事業

・泉市民体育館管理運営　　柴崎市民体育館管理運営

・スポーツ普及奨励活動事業（ウォーキング事業、ラジオ体操会、スポーツ普及事業　他）

・成人対象事業（地域活性化講座）

・子育て世代へのスポーツの参加促進

・スポーツに対する意識改革

実施状況

イベントの参加者数は昨年並みとなりました。市民あるけあるけ運動は企画内容を工夫し、多摩動物公園まで歩き、公園の入場を無料にする等して参加者を増大することができました。
幸学習館の地域活性化講座として「ママビクス＆ベビーマッサージ」を毎年実施しており、今年度も5月、6月に6日間の開催を予定していましたが、申し込みの定員に達しなかったため中止としました。改めて10月に、開催回数、会場、講座のタイトルを見直し、「ベビーマッサージ＆サンゴのママ体操～赤ちゃんにっこりママすっきり～」として実施しました。

各種スポーツ関連教室、イベントの開催　（延べ参加者数）

番号	事業名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①	体力年齢測定会	中止	36	36	37
②	市民あるけあるけ運動	106	244	91	289
③	ラジオ体操・みんなの体操会	60	企画なし	企画なし	企画なし
④	ラジオ体操講習会	27	27	26	37
⑤	成人対象事業「ママビクス&ベビーマッサージ」	90人(6日間)	46人（6日間）	66人（6日間）	30人（3日間）
	合　計	283	353	219	393

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

各種スポーツ関連教室、イベントの開催　（延べ参加者数）

番号	事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	体力年齢測定会	38	47	52	31	22
②	市民あるけあるけ運動	142	164	43	49	55
③	ラジオ体操・みんなの体操会	1,000	277	250	175	140
④	ラジオ体操講習会	－	66	57	32	47
⑤	成人対象事業「ママビクス&ベビーマッサージ」	140	118	160	146	146
	合　計	1,320	672	562	433	410

※市民あるけあるけ運動は、平成28年度まで年2回、平成29年度より年1回

施策名	（3）高齢者のスポーツの推進

施策の内容

超高齢社会を迎え、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、「健康寿命を延ばすこと」が必要なことから、スポーツを通じた高齢者の体力づくりや生きがいづくりが求められています。このため、高齢者を対象とした事業については、そのニーズや健康状態に配慮しながら実施します。
また、福祉会館等における健康づくりの場の提供などを通じて、気軽にスポーツに親しむことができる機会を充実します。

取組事業

・泉市民体育館管理運営　　柴崎市民体育館管理運営

・スポーツ普及奨励活動事業（ウォーキング事業、市民健康づくり教室）

・競技会等の開催・派遣事業（スポーツ推進委員、スポレクフェスタ）

・社会参加と生きがいづくり促進

・一般介護予防事業

・高齢者対象事業（寿教室）

・ウォーキングマップの活用促進

基本方針1　市民のライフステージに応じたスポーツの推進

実施状況

事業全体として、コロナ禍以前の参加者数に徐々に戻りつつあり、スポーツや健康増進につながる環境づくりを進めることができた。体力アップ体操教室はリピーターが多く参加者増大につながった。
高齢政策課では、介護予防に取り組むきっかけづくりのため、65歳以上の市民を対象に地域体操クラブ事業を実施し、終了後の自主化についても支援を行った。また、自主化したグループ等へは健康体操応援リーダー等派遣事業による市民リーダーの派遣や、地域リハビリテーション活動支援事業によるリハビリテーション専門職を派遣を実施し、地域で活動する自主グループへの活動継続や効果測定の支援を行った。
保健講座は、やさしいヨガ教室、体をほぐそう、ポール de ウォーク、しなやか健康ボディを作る！ストレッチ&エクササイズ、元気にリズムダンスを開催した。
健康づくりでは、健康づくり推進員を中心に作った7つのウォーキングコースをまとめたウォーキングマップを活用し、広く市民に呼びかけて、ウォーキング講座を実施した。
たちかわ健康ポイント事業では、アプリ内にウォーキングコースを登録し、ウォーキングを促した。
高齢者対策事業では、市内学習館6館で60歳以上の市民を対象として、身近な場所で、自らすすんで学習し、仲間づくりや健康増進・生きがいの創造を目的として開催。学習館などを会場とし、9寿教室を実施した。主な活動内容は、①健康体操　②フォークダンス・フラダンス・リズムダンス　③民踊・民謡おどり　④合唱・コーラス・カラオケ・民謡　⑤気功のほか、各種学習会を行った。また、その他に寿教室芸能フェスティバルを隔年開催している。

高齢者対象スポーツ事業の開催　（延べ参加者数）

番号	事業名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①	市民高齢者2万歩ハイク	企画なし	企画なし	企画なし	企画なし
②	市民あるけあるけ運動（再掲）	106	244	91	289
③	体力アップ体操教室	192	121	91	136
④	体力年齢測定会（再掲）	中止	36	36	37
⑤	ラジオ体操・みんなの体操会（再掲）	60	企画なし	企画なし	企画なし
⑥	ラジオ体操講習会（再掲）	27	27	26	37
⑦	スポレクフェスタ	1,149	1,347	1,386	1,335
⑧	保健講座「やさしいヨガ教室」	112	100	158	163
⑨	保健講座「楽しく元気を目指せ健康づくり」	企画なし	企画なし	企画なし	企画なし
⑩	保健講座「いきいき体操！」	32	24	企画なし	企画なし
⑪	保健講座「やさしい健康気功」	企画なし	企画なし	企画なし	企画なし
⑫	保健講座「やさしい太極拳」	41	62	企画なし	企画なし
⑬	保健講座「はじめよう！ポールウォーキング」	企画なし	企画なし	企画なし	企画なし
⑭	保健講座「正しい姿勢で歩こう！ポールウォーキング」	企画なし	企画なし	企画なし	企画なし
⑮	保健講座「はじめてのミニテニス」	企画なし	企画なし	企画なし	企画なし
⑯	保健講座「はじめてのターゲットバードゴルフ」	企画なし	企画なし	企画なし	企画なし
⑰	保健講座「シナプソロジー」	企画なし	企画なし	企画なし	企画なし
⑱	一般介護予防事業「地域体操クラブ」	6クラス28名	6クラス28名	6クラス39名	6クラス32名
⑲	一般介護予防事業「健康体操応援リーダー等派遣事業」	7団体280名	7団体280名	8団体246名	6団体194名
⑳	高齢者対象事業「寿教室」	9教室6,595名	9教室8,361名	9教室7,642名	9教室7,363名
㉑	シルバー大学「社交ダンス」	978	838	513	342
㉒	シルバー大学「ターゲットバードゴルフ」	127	202	187	122
㉓	シルバー大学「健康吹矢」	190	259	197	54
㉔	シルバー大学「ゲートボール」	213	62	企画なし	企画なし
㉕	シルバー大学「モルック」	企画なし	272	321	381
㉖	シルバー大学「ストレッチ」	企画なし	企画なし	213	315
㉗	シルバー大学「ポールdeウォーク」				271
㉘	保健講座「東京大会を終えて～これからのスポーツイベントの楽しみ方～」	17	企画なし	企画なし	企画なし
㉙	保健講座「リズム気功」	26	企画なし	企画なし	企画なし
㉚	保健講座「北欧生まれのニュースポーツ　モルック」	34	67	企画なし	企画なし
㉛	保健講座「きれいに歩くストレッチ」	企画なし	31	企画なし	企画なし
㉜	保健講座「はじめての椅子タップダンス」			63	企画なし
㉝	保健講座「無理なく楽しむ！はじめての椅子ヨガ」			60	企画なし
㉞	保健講座「はじめてのフラダンス」			89	企画なし
㉟	保健講座「体をほぐそう」			46	28
㊱	保健講座「ポール de ウォーク」			18	16
㊲	保健講座「しなやか健康ボディを作る！ストレッチ＆エクササイズ」				30
㊳	保健講座「元気にリズムダンス」				83
	合　計	10,207	12,361	11,422	11,228

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

高齢者対象スポーツ事業の開催　（延べ参加者数）

番号	事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	市民高齢者2万歩ハイク	85	66	67	51	36
②	市民あるけあるけ運動（再掲）	142	164	43	49	55
③	筋力アップ貯筋（体力アップ）体操教室	208	192	190	186	181
④	体力年齢測定会（再掲）	38	47	52	31	22
⑤	ラジオ体操・みんなの体操会（再掲）	1,000	277	250	175	140
⑥	ラジオ体操講習会（再掲）	－	66	57	32	47
⑦	スポレクフェスタ	2,603	2,413	2,419	2,110	2,156
⑧	保健講座「やさしいヨガ教室」	156	133	117	196	137
⑨	保健講座「楽しく元気を目指せ健康づくり」	45	38	38	36	18
⑩	保健講座「いきいき体操！」	39	47	28	58	40
⑪	保健講座「やさしい健康気功」	118	128	76	122	69
⑫	保健講座「やさしい太極拳」	128	68	134	211	121
⑬	保健講座「はじめよう！ポールウォーキング」	－	30	38	18	－
⑭	保健講座「正しい姿勢で歩こう！ポールウォーキング」	－	62	－	－	－
⑮	保健講座「はじめてのミニテニス」	－	60	－	－	－
⑯	保健講座「はじめてのターゲットバードゴルフ」	－	43	－	－	－
⑰	保健講座「シナプソロジー」	－	－	－	48	34
⑱	一般介護予防事業「地域体操クラブ」	－	319	166	90	81
⑲	一般介護予防事業「健康体操応援リーダー等派遣事業」	－	30	70	132	267
⑳	高齢者対象事業「寿教室」	12,453	13,210	12,202	11,507	11,900
	合　計	17,015	17,393	15,947	15,052	15,304

※筋力アップ貯筋体操教室は平成30年度より体力アップ体操教室に名称変更

施策名	（4）障害者のスポーツの推進

施策の内容

障害者スポーツは東京2020パラリンピック競技大会の開催を契機として、障害者スポーツやアスリートの活躍がメディアで取り上げられることが多くなり、認知度が向上しています。
　また、身近な場所で体験ができる機会や、泉・柴崎両市民体育館で教室を実施するなど、市民が障害者スポーツに参加できる機会が増えています。引き続き、障害者が参加しやすい施設運営や事業の実施と、障害者スポーツの理解・啓発を進めます。

取組事業

・泉市民体育館管理運営　　柴崎市民体育館管理運営

・スポーツ普及奨励活動事業（障害者スポーツ事業）

・社会体育関係委員会運営（スポーツ推進委員）

・障害者スポーツ大会負担金

実施状況

障害者スポーツ大会実行委員会に負担金を交付し、年3回開催した実行委員会に職員が事務局として出席した。また、10月6日（日）に泉市民体育館で運動会形式の障害者スポーツ大会を開催した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響で5年ぶりとなった令和6年度は、実行委員へのアンケート調査結果を踏まえ、感染症対策として規模を縮小（開催時間の短縮、参加団体数・人数や競技数の減）しての開催となった。

障害者スポーツ教室、イベントの開催　（延べ参加者数）

番号	事業名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①	ブラインドサッカー体験会	中止	企画なし	企画なし	企画なし
②	障害者スポーツ研修会（スポーツ推進委員主催）	中止	2	13	13
③	ハンディ水泳教室	中止	3	6	7
④	チャレンジスポーツ教室（シンコー指定管理+ヴェルディ）	225	156	177	199
⑤	障害者スポーツイベント（アクアフェスティバル、ボッチャ（体協）、シンコーブラインドサッカー）	103	94	108	102
⑥	障害者スポーツ大会	中止	中止	中止	241
	合　計	328	255	304	562

ボッチャ用具の貸出

内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ボールセット	26	66	62	56
ランプ	1	0	0	0

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

障害者スポーツ教室、イベントの開催　（延べ参加者数）

番号	事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	ブラインドサッカー体験会	154	867	767	600	364
②	スポーツ推進委員主催ボッチャ体験会	51	33	29	27	42
③	ハンディ水泳教室	108	138	433	107	59
④	チャレンジスポーツ教室	129	597	665	723	514
⑤	障害者スポーツイベント	81	211	224	167	97
⑥	障害者スポーツ大会	578	616	578	598	632
	合　計	1,101	2,462	2,696	2,222	1,708

ボッチャ用具の貸出

内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ボールセット	（1団体）1セット	（3団体）4セット	（39団体）74セット	（33団体）62セット	（28団体）48セット
ランプ	（1団体）1セット	（2団体）3個	（16団体）18個	（3団体）7個	（1団体）2個

基本方針2　交流と連携による地域スポーツの推進

スポーツには、地域コミュニティの醸成や地域の活性化といった市民の参加・交流の機会拡充などの効果が期待されています。こうしたスポーツの効果を活用し、スポーツを通して、地域でのふれあいや地域社会への参加が促進され、地域での交流が深まるまちを目指します。
また、立川シティハーフマラソンへの認知度を高めるとともに、市内のプロスポーツチーム等と連携を強化し、地域・経済の活力を高めることにより、本市の魅力づくりにつながる取組を推進します。

成果指標	調査手法	目標値（R6年度）	実績（R2年度）	実績（R3年度）	実績（R4年度）	実績（R5年度）	実績（R6年度）
地域スポーツ教室参加者数	事業実績報告書	11,000	3,329	5,636	5,791	4,806	4,652
立川シティハーフマラソン参加者の総合評価	RUNNETの総合評価	75.0点	中止	－	－	－	－

施策名	（1）地域スポーツクラブの支援

施策の内容

市民が身近な地域で主体的にスポーツに親しむには、地域スポーツクラブの果たす役割は重要となっています。引き続き、地域スポーツクラブの活動の充実・活性化を進めるため支援を継続します。
本市では、平成23(2011)年12月に、市内の12地区体育会が東京都から地域スポーツクラブの認証を受け、活動しているが、総合型地域スポーツクラブ※の登録・認証制度の運用が開始される中、制度と地区体育会の成り立ちとの乖離がある状況です。今後も地区体育会との情報・意見交換を続けていきます。

取組事業

・スポーツ普及奨励活動事業（地域スポーツ教室）

実施状況

地区体育会に地域スポーツ教室を委託して各体育会で実施した。学校など身近な場所で気軽にスポーツに取り組める活動を推進することができた。

地域スポーツ教室の開催

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ参加者数	5,636	5,791	4,806	4,652
開催回数	222	190	139	416

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

地域スポーツクラブの支援

地域スポーツ教室の開催

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
延べ参加者数	11,068	9,706	10,138	7,025	6,266
開催回数	1,058	876	949	608	636

施策名	（2）地域スポーツ団体との連携によるスポーツ振興・競技力向上の推進

施策の内容

スポーツ協会の主管による立川市民体育大会については、各競技団体が様々な競技を展開し、小学生から成人まで多くの参加者があり、順位を競うことにより競技力の向上に役立っています。近年では、地域のつながりが希薄化していることから、参加者やスタッフの確保が課題となっています。
地域でスポーツを楽しむ市民の活動の活性化を進めるため、地域団体の主体的な活動や広域大会への出場を継続して支援します。
また、プロスポーツ団体との連携が進んでいることや、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、トップアスリートに接することができる機会が増加しています。この機会を生かし、市内競技団体と連携して、スポーツに親しむ市民のスポーツ継続へのモチベーションアップ、競技力向上につなげていきます。

取組事業

・競技会等の開催・派遣事業（市民体育大会、選手派遣）

・体育団体・自主グループ育成（総合団体育成補助金交付事業）

　体育団体・自主グループ育成（競技団体補助金）

・スポーツ普及奨励活動事業（スポーツ普及事業 他）

実施状況

市民体育大会は、予定した全種目を開催できた。都民大会、スポーツフェスティバル東京（旧：都民生涯スポーツ大会）への派遣も全種目で実施した。
これにより市民の参加・交流の機会を確保することができた。

競技スポーツの振興事業　（延べ参加者数）

事業名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市民体育大会	5,936	10,513	13,422	13,693
アスリートスポーツ教室	121	企画なし	企画なし	企画なし
泉市民体育館まつり（再掲）	672	1,447	1,572	1,720
都民体育大会	5	260	358	291
スポーツフェスティバル東京（旧：都民生涯スポーツ大会）	41	155	195	142
合　計	6,775	12,375	15,547	15,846

競技団体補助金

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
補助対象の団体数	6	17	20	21

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

地域スポーツ団体との連携によるスポーツ振興・競技力向上の推進

競技スポーツの振興事業　（延べ参加者数）

事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
市民体育大会	25,405	26,069	23,550	22,712	17,552
アスリートスポーツ教室	－	－	63	138	149
泉市民体育館まつり（再掲）	－	289	461	704	401
都民体育大会	347	354	327	288	304
都民生涯スポーツ大会	136	148	151	145	155
合　計	25,888	26,860	24,552	23,987	18,561

※アスリートスポーツ教室は、平成29年度からの新規事業

競技団体補助金

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
補助対象の団体数	21	21	21	21	20

施策名	（3）地域におけるスポーツの推進

施策の内容

現在、地域では地区体育会のほかに、子ども会や青少年健全育成地区委員会、学校などさまざまな団体がスポーツ活動を行っています。このような地域団体が連携して、地域の特色を生かしたスポーツ活動に取り組むことが今後一層期待されます。
引き続き、庁内関係課と連携し、各種団体の地域における事業展開を支援します。

取組事業

・スポーツ普及奨励活動事業（地域スポーツ教室）

・地区子ども会連合会が実施するスポーツ大会等の事業

実施状況

地域スポーツ教室は、全地区でほぼ予定通り実施することができた。
学校など身近な場所で気軽にスポーツに取り組める活動を推進することができた。

地域スポーツ教室の開催

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ参加者数	5,636	5,791	4,806	4,652
開催回数	222	190	139	416

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

地域スポーツ教室の開催

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
延べ参加者数	11,068	9,706	10,138	7,025	6,266
開催回数	1,058	876	949	608	636

施策名	（4）ニュースポーツによるスポーツの推進

施策の内容

ニュースポーツとは、近年新たに考案されたり、古くからある競技スポーツを変形するなどしてできた軽スポーツの総称で、子どもから高齢者まで誰でも手軽に楽しめるのが特長です。これまでも本市発祥の「ミニテニス」や「ソフトバレーボール」の普及を、地区体育会やスポーツ推進委員協議会と連携して取り組んできました。
今後は、「年代を問わず誰でも簡単に取り組めるニュースポーツ」を紹介・推奨しスポーツ参画人口の増加につなげていきます。

取組事業

・競技会等の開催・派遣事業（スポーツ推進委員）

・スポーツ普及奨励活動事業（地域スポーツ教室）

・スポーツ普及奨励活動事業（スポーツ普及事業　他）

実施状況

推奨種目としてきたゴールドッヂについて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施困難となったため、引き続きモルックをテーマ種目とし、令和6年度は「モルック大会」として実施した。

ニュースポーツ振興事業　（延べ参加者数）

事業名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ニュースポーツ体験会	中止	46	38	85
合　計	0	46	38	85

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

ニュースポーツ振興事業　（延べ参加者数）

事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ソフトバレーボール大会	208	213	195	－	－
ニュースポーツ体験会（ゴールドッヂ体験会）	－	－	－	128	161
合　計	208	213	195	128	161

※ソフトバレーボール大会は平成29年度（第12回）で終了し、平成30年度より新たな種目の体験会を開催

施策名	（5）立川シティハーフマラソンの推進

施策の内容

子どもから大人まで気軽に参加できる市民マラソンとして、市民のスポーツ振興はもとより、多様な交流や健康づくりとともに、地域の活性化にもつながる立川シティハーフマラソンの充実に向け取り組みます。

取組事業

・競技会等の開催・派遣事業（立川シティハーフマラソン）

・庁内各課に依頼し、大会の主要部署の担当やボランティアの取りまとめ

実施状況

今大会ではハーフマラソンにおいて、生徒・学生の部を新設し、学連所属者を始めとして、より多くの学生の集客に務めた。
また、新規イベントとして、東京2025世界陸上と東京2025デフリンピックの気運醸成イベントや、参加者に向けてじゃんけん大会を実施することで、より魅力ある大会運営を行った。

立川シティハーフマラソン　（参加者数）

種目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ハーフマラソン（一般）	4,159	4,560	4,671	4,618
ハーフマラソン（学生）	499	929	865	756
3kmの部	854	907	313	307
親子ペアの部	490	514	734	730
10kmの部	393	776	841	853
1マイルの部			637	755
車いすレース	6	企画なし	企画なし	企画なし
合　計	6,401	7,686	8,061	8,019

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

立川シティハーフマラソン　（参加者数）

種目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ハーフマラソン（一般）	6,641	6,637	6,809	6,578	－
ハーフマラソン（学生）	1,042	1,044	1,018	919	－
3kmレース	1,845	1,968	1,849	1,627	－
親子ペアレース	518	518	584	532	－
合　計	10,046	10,167	10,260	9,656	－

施策名	（6）プロスポーツチーム等との連携によるスポーツの推進

施策の内容

プロスポーツチームの試合観戦やトップレベルの選手のプレーを観ることは、市民がスポーツを通じて感動と興奮を感じ、自らスポーツに親しむきっかけになります。
本市では、平成29(2017)年にアルバルク東京やTACHIKAWA DICE.EXE（立川ダイス）と、地域社会の発展及び振興を図ることを目的に相互協力協定を締結し、市内の小中学校でトップレベルの選手の指導に触れる機会が得られるなど、連携と交流を進めました。
また、平成27(2015)年には、東京女子体育大学・東京女子体育短期大学と文化、教育、学術、スポーツ等の分野において、地域の発展と人材の育成に寄与するため、包括的な連携・協力に関する協定を締結し、教育をはじめとしたさまざまな行政分野で連携・協力が進みました。
今後もプロスポーツチームや大学との連携を進め、市民にプロスポーツチームに関する情報提供やスポーツを通じた大学との新たな連携事業を検討することにより、スポーツへの関心と魅力を高めていくとともに、地域経済の活性化や観光振興、地域への愛着心の向上を図ります。

取組事業

・観光振興事業（来街者受入環境整備）

・東京女子体育大学・東京女子体育短期大学との包括的な連携・協力に関する協定に基づく
　連携事業の推進

・立川プロスポーツ連絡会との連携

・プロスポーツチームとの連携に関する情報共有と窓口の一本化

実施状況

・Jリーグ東京ヴェルディ、アルバルク東京、立川ダイス、立川アスレティックFCが市民デーを開催し、市民を優待した。
・プロスポーツ連絡会等が主催するイベントにくるりん出演等で協力した他、立川市が携わるイベントに出演してもらう等、相互連携をより強めることができた。
・プロスポーツ連絡会加盟団体である石川ボクシングジム立川と協定を締結した。
・東京女子体育大学・同短期大学とは、引き続き連携事業についても取り組みを進めた。
・取り組みを通じ、スポーツへの関心と魅力を高め、スポーツに親しむきっかけを作ることができた。

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

※【施策名】トップアスリートによるスポーツの推進
①東京ヴェルディホームタウンデーを開催
②Bリーグアルバルク東京、3×3バスケットボール立川ダイスと相互協力協定を締結
③泉体育館においてB3八王子トレインズの試合を開催（H29まで）、3×3立川ダイスやBリーグアルバルク東京、立川・府中アスレティックFCが本市をホームタウンとしたことで、身近な場所でトップアスリートによるプレーを観戦できる機会が増加した。
④H29年度よりアスリートスポーツ教室を開催。全国レベルの指導者による教室を実施。
⑤東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催を契機として、オリンピアン・パラリンピアンを小中学校やスポーツ教室に派遣し、講演や直接指導を受けるなどの機会を設けた。

基本方針3　スポーツ環境の充実

市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも安全にスポーツに親しむことができるまちを目指します。そのために、老朽化した市の体育施設や学校施設を適切に維持管理・改修し生活に身近な場所でスポーツを楽しめる環境整備に取り組みます。
また、適切な指導・助言を行うことができる専門性の高い人材育成等に取り組むとともに、庁内の関連課と連携して運動やスポーツの習慣づけを行うことで、市民の健康づくりに寄与する施策を推進します。

成果指標	調査手法	目標値（R6年度）	実績（R2年度）	実績（R3年度）	実績（R4年度）	実績（R5年度）	実績（R6年度）
市スポーツ施設利用者数	事業実績報告書	1,070,000	419,046	538,426	688,010	811,603	822,103
学校開放利用者数（遊び場・校庭・体育館）	事業実績報告書	448,000	250,786	311,616	344,206	378,121	374,954

施策名　（1）既存スポーツ施設等の整備・充実

施策の内容

既存施設のさらなる有効活用のため、ソフトとハードの両面から、誰もが利用しやすい施設環境整備に取り組みます。また、施設老朽化に対応し、持続可能なスポーツ環境を提供していくため、施設の適切な維持管理に努めるとともに、将来を見据えた屋外体育施設のあり方の検討を進めます。

取組事業

・利用者拡大の促進

・屋外体育施設のあり方検討

・立川公園陸上競技場の改修工事

・練成館の老朽化への対応

・熱中症への対応

・屋外体育施設の利用時間の延長の実施

実施状況

施設の利用期間・利用時間の拡大、使用種目の多様化等を実施し、スポーツ環境の機会確保に努めた。
屋内・屋外体育施設全般の今後のあり方を示す「体育施設のあり方」に基づき、屋外体育施設の機能を維持するための基本方針を定め、競技種目ごとに方向性を整理した「屋外体育施設個別管理計画」を策定した。
立川公園陸上競技場の基本計画改定に向けた検討を行った。

市スポーツ施設利用者数

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市スポーツ施設利用者数	538,426	688,010	811,603	822,103

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

市体育施設利用者数

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
市体育施設利用者数	1,088,917	1,121,377	1,090,670	1,064,891	996,004

施策名	（2）学校施設の有効活用

施策の内容

地域における子どもたちの外遊びの場を確保するため、土曜日と日曜日に小学校の校庭や体育館を遊び場として開放しています。
　また、スポーツ団体に小・中学校の校庭や体育館を学校教育に支障のない範囲で開放することで、スポーツ団体の活動拠点として重要な役割を果たしており、今後も継続します。

取組事業

・学校開放事業

・小中学校校庭等の夜間照明塔の腐食度調査と計画的な撤去・再設置

実施状況

学校教育に支障のない範囲で学校施設の利用を継続し、地域におけるスポーツ利用や子どもたちの遊び場を確保した。

学校体育施設開放事業利用者数

利用者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
スポーツ利用	269,438	297,489	332,229	338,460
遊び場開放	42,178	46,717	45,892	36,494

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

学校施設利用回数

利用者数	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
スポーツ利用	373,953	371,276	371,142	372,789	317,967
遊び場開放	63,291	71,856	59,093	53,829	46,788

施策名	（3）指導者の育成・確保

施策の内容

専門的な知識と指導技術を持った意欲的なスポーツ指導者を育成するため、現在実施　している各種指導者育成に関する事業を確実に実施していくとともに、育成された指導者が地域で活躍することができるしくみを関係機関や団体等と構築していきます。
また、競技スポーツに限らず、健康づくりなどの幅広い年齢層の方が気軽に取り組める運動に対応する指導者の育成・確保も進めていきます。

取組事業

・スポーツ普及奨励活動事業（ラジオ体操会）

・体育団体・自主グループ育成（指導者育成委託）

実施状況

ラジオ体操指導者講習会を実施し、地域でのラジオ体操や健康体操の指導者育成を行った。運動指導者育成は各種競技に通じる座学、実技プログラムなどの指導者育成講座を実施した。

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況	
「ラジオ体操指導者講習会」を継続して行い、多くの市民が指導者資格を取得することができた。 平成31年度よりスポーツ協会が実施する「運動指導者育成プログラム講座」への補助を実施し、受講者が地域スポーツの推進を担う指導者として育成することができた。今後は、フィジカルやメンタルの基礎を実際の指導に活かし、結果に結びつけるための現場力・応用力の習得につなげていく。	
施策名	（4）情報の提供
施策の内容	
どのような事業も情報が市民に適切に届くことで、利用・活用されます。効率よく広く情報を提供することが重要です。スポーツをしていない人にスポーツをはじめるきっかけづくりも、情報を適時・的確に伝達できることが重要です。情報を伝達したい対象の年齢層や生活環境に合わせて適切に情報を提供していきます。 取組事業 ・広報媒体の検討と活用 ・情報の収集・提供	
実施状況	
市主催事業や立川市ゆかりのアスリートの活躍情報等をホームページ等を活用し情報発信を行った。 立川シティハーフマラソンでは、SNSを活用し、情報提供を行うことができた。 立川市を拠点としているプロスポーツチームのホームゲーム情報など見るスポーツに関する情報も発信した。	
【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況	
広報「たちかわ」や立川市ホームページ及び立川市スポーツ協会ホームページを活用して、市民大会の各種目の開催、各種スポーツイベント・教室の開催情報を市民に提供している。また、新規のイベントや参加者の多いイベントは、積極的にプレスリリースをしている。 きらりたちかわ等、庁内の他課で発行する情報誌にスポーツ教室等の開催予定を掲載したほか、市内の施設にチラシを配布し市民等へ情報を周知した。	

施策名	（5）健康づくり事業の推進

施策の内容

スポーツは競技として勝敗や記録を目的とすることにとどまらず、健康の保持・増進や介護の予防、地域との絆づくりなど、心身の健康づくりと地域の支えあいにも大きな役割を果たします。このため、引き続き各種事業を実施します。
また、スポーツに対する高いニーズを活用し、スポーツイベント・各種教室を通じたコミュニティの活性化に結びつけることにも取り組みます。
さらに、健康づくりに関する事業は、庁内各課で実施しているため、連携体制をつくり、効率的・効果的に事業を実施します。

取組事業

・競技会等の開催・派遣事業（スポーツ推進委員）

・スポーツ普及奨励活動事業

（市民健康づくり事業、ウォーキング事業、ラジオ体操会スポーツ普及事業　他）

・地域参加型機能訓練（ラフ＆タフ体操教室）

実施状況

体力年齢測定会や、体力アップ体操教室、小学生姿勢教室、地域参加型機能訓練（ラフ＆タフ体操教室）を実施した。
また、健康づくり推進員を中心に作った7つのウォーキングコースをまとめたウォーキングマップを活用し、広く市民に呼びかけて、ウォーキング講座を実施した。
たちかわ健康ポイント事業では、アプリ内にウォーキングコースを登録し、ウォーキングを促した。

健康づくり事業の開催　（延べ参加者数）

番号	事業名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①	体力年齢測定会(再掲)	中止	36	36	37
②	体力アップ体操教室(再掲)	192	121	91	136
③	小学生姿勢教室(再掲)	33組71名	37組80名	48組102名	45組98名
④	地域参加型機能訓練「ラフ＆タフ体操教室」	561	680	876	921
	合　計	824	917	1,105	1,192

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

番号	事業名		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	みんなでストレッチ教室（再掲）	泉市民体育館	12,745（198回）	12,783（190回）	11,681（193回）	11,329（186回）	8,048（174回）
		柴崎市民体育館	2,167（44回）	2,011（43回）	2,098（40回）	1,983（41回）	1,698（40回）
②	アクアエクササイズ教室	泉市民体育館	1,937（84回）	1,575（81回）	1,127（80回）	1,083（80回）	1,135（62回）
		柴崎市民体育館	2,975（204回）	3,787（178回）	4,180（175回）	3,973（180回）	3,926（168回）
③	軽体操教室（再掲）	柴崎市民体育館	2,093（40回）	1,927（42回）	2,197（42回）	2,633（43回）	1,927（38回）
④	ラジオ体操・みんなの体操会（再掲）		1,000	277	250	175	140
⑤	ラジオ体操講習会（再掲）		－	66	57	32	47
⑥	体力年齢測定会(再掲)		38	47	52	31	22
⑦	筋力アップ貯筋(体力アップ)体操教室(再掲)		208	192	190	186	181
⑧	小学生姿勢教室(再掲)		－	61	58	139	149
⑨	地域参加型機能訓練「ラフ＆タフ体操教室」		1,596	1,222	900	964	941
	合　計		23,759	23,605	22,483	22,321	18,027

施策名	（6）オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とするスポーツの推進

施策の内容

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、スポーツ参画人口の増加が見込まれています。スポーツを「する」「みる」「ささえる」市民がさらに増えていくよう各種施策を推進します。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、子どもたちに夢と希望を与えるとともに、国際交流の促進や経済面での効果も生み出すといわれています。このような競技大会のレガシーを次世代に引き継いでいけるよう、さらなるスポーツ振興を進めていきます。

取組事業

・スポーツ普及奨励活動事業（障害者スポーツ事業）

・大学や地域団体等との連携促進

・近代3種※の普及

・トップアスリートの派遣等

・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への小中学校の観戦

実施状況

オリンピックを契機に連携し始めた日本近代五種協会と協力し、立川市スポーツ協会加盟団体（陸上競技協会、水泳協会）の協力の下、近代3種及び2種の大会を開催した。大会には市内の小・中学生も参加した。

オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とする事業やイベント　（延べ参加者数）

番号	事業名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①	アスリートスポーツ教室（再掲）	121	企画なし	企画なし	企画なし
②	泉市民体育館まつり（再掲）	672	1,447	1,572	1,720
③	ニュースポーツ体験会（再掲）	中止	46	38	85
④	ブラインドサッカー体験会（再掲）	中止	企画なし	企画なし	企画なし
⑤	障害者スポーツ研修会（再掲）	中止	2	13	13
⑥	チャレンジスポーツ教室（再掲）	225	156	177	199
⑦	障害者スポーツイベント（再掲）	103	94	108	102
⑧	ジャパン近代3種シリーズ立川大会 （近代2種・市民枠参加）	44	14	R4で終了	R4で終了
⑨	第10回近代3種日本選手権大会兼 第17回JOCジュニアオリンピックカップ （近代3種・市民枠参加）	4	2	立川市では 未実施	26
⑩	レーザーラン大会in立川（R5のみ） （近代2種・市民枠参加）			19	
	合　計	1,169	1,761	1,927	2,145

【参考】スポーツ推進計画（平成27～令和2年度）の実施状況

オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とする事業やイベント　（延べ参加者数）

番号	事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	アスリートスポーツ教室（再掲）	－	－	63	138	149
②	泉市民体育館まつり（再掲）	－	289	461	704	401
③	ニュースポーツ体験会（再掲）	－	－	－	128	161
④	ブラインドサッカー体験会（再掲）	154	867	767	600	364
⑤	スポーツ推進委員主催ボッチャ体験会（再掲）	51	33	29	27	42
⑥	チャレンジスポーツ教室（再掲）	129	597	665	723	514
⑦	障害者スポーツイベント（再掲）	81	211	224	167	97
⑧	ジャパン近代3種シリーズ立川大会	－	－	－	125 （2018第7戦）	146 （2019第3戦）
⑨	第6回近代3種日本選手権大会兼 第13回JOCジュニアオリンピックカップ	－	－	－	100	－
	合　計	415	1,997	2,209	2,712	1,874

※平成30年度より立川市で開催されている。